

# いなみ野の風

特定医療法人社団仙齡会いなみ野病院  
 住 所 加古川市平岡町土山字川池423-2  
 TEL 078-941-1730  
 FAX 078-941-1734

ホームページアドレス <http://inamino-hp.senreikai.org>  
 メールアドレス [inamino@senreikai.org](mailto:inamino@senreikai.org)

いなみ野病院 院内・院外広報誌

編集：いなみ野病院 I M 広報委員会

## 「年頭所感」

いなみ野病院 院長 嘉悦 博



日本の少子高齢化は進み、2025年には、高齢者人口のピークを迎え、それに備えて医療、介護の提供体制は、患者、地域社会を主体としたシステムが考えられています（地域包括ケアシステムと呼ばれています）。しかし、その具体的内容はまだ出来ていません。高齢化社会で医療、介護の必要性が増すのに、医療費、介護費用を削減する厚労省の考えは矛盾しているのです、どこかの妥協点で決まる保険制度、又はシステムになると予想しています。

日本慢性医療協会のキャッチフレーズは、「良質な慢性期医療が



なければ日本の医療はなりたない」との文言です。良質とは制度の範囲内での真面目な診療体制と御理解下さい。

私共の本年の課題も、現在当院で療養されている患者様や御家族に、先の不安を感じさせないよう、

### 特定医療法人社団仙齡会 いなみ野病院

#### 基本理念

当院は、患者さんを尊重し、患者さんから信頼される安全で質の高い医療を提供することによって、地域の高齢者医療の向上に努めていきます

#### 基本方針

- 1) 時代の進歩に即応した質の高い安全な医療を提供するために、日々研鑽と努力を重ねます
- 2) 高齢化社会のニーズに応じ、患者さんと家族の納得する、医療・療養・介護サービスを行います
- 3) 認知症疾患の医療・介護の充実をはかり、地域の高齢者医療・福祉に貢献します



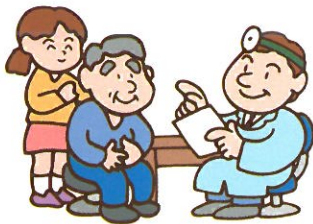
この日本慢性医療協会の  
キャッチフレーズをめざして  
日々の医療、介護の提供に努  
力していくことです。

当院の評価は、患者様及び  
御家族の評価、紹介して下さ  
る近隣の病院、施設の関係者  
の方々の評価によって決まっ  
てくると考えています。今後  
とも皆様の建設的な御意見、  
御指導をいただいて、当院を  
運営していく所存です。

それに加えて、当院職員よ  
りの評価も大切です。これに  
は、日々の診療行為に対し  
て、病院全体としてはうまく  
機能しているか、属している  
組織としてはうまく機能して  
いるかという職員よりの全体  
に対する評価と、職員各々が  
組織の一員として役割を果た  
しているかという、自分自身

に対する評価の二つになりま  
す。これらを認識して、地域  
社会から認められる病院であ  
りたいと思っています。本年  
も引き続き職員皆様の努力を  
期待しています。

さて、当院は日本慢性医療  
協会の慢性期医療認定病院に  
指定されていますが、本年は  
その更新時期となりました。  
この認定病院の更新も、外部  
から当院に対する客観的な評  
価の一つとして重要視してい  
ます。前回より、より良い評  
価を頂けるよう頑張ります。



## 平成27年クリスマス会

平成27年12月18日(金)にクリスマス会を実施しました。午前と午後の2部構成で実施し、患者様102名、御家族60名の多くの参加を頂き盛大に開催することが出来ました。ありがとうございました。

午前・午後の部ともに嘉悦院長のはじめの言葉で幕を開けました。



**クリスマス会**  
平成27年12月18日(金)  
本館4階機能訓練室

午前の部：10時～(本館3階・南館1階)  
ボランティア萬芸楽房様・本館3階・リハビリ職員による出し物 等

午後の部：13時40分～(本館1階・本館2階・南館2階)  
ボランティア鼓銭会様・レク委員・リハビリ職員による出し物 等

いなみ野病院 レクリエーション委員会





午前の部は、ボランティアの萬芸房様をお招きすることができ、皿まわしや南京玉すだれを鑑賞しました。皿まわしでは、実際に

患者様も体験され、棒の上でまわる皿を見て嬉しそうな表情がみられました。

今回、久しぶりに病棟からの出し物があり、本館3階の患者様と職員による「雪」と「ふるさと」の合唱を披露されました。元気な歌声、手作りのマラカスの音で賑やかな出し物となりました。患者様も久々にお化粧をされ舞台上に立たれ、クリスマス会終了後には、「自分たちの出し物が1番良かった」と笑顔で話されていました。



午後の部は、当院の七夕会・クリスマス会でお馴染みのボランティア、鼓銭会様により民謡や太鼓、三味線などを披露していただき

ました。出し物は賑やかな花笠音頭から始まり、生の三味線や太鼓の音色が会場中に響きました。患者様も口ずさんだり、手拍子をしたりと楽しまれている様子でした。

レクリエーション委員会の出し物として、赤鼻のトナカイの曲に合わせて大きな風船を患者様に叩いてもらいました。色とりどりの大きな風船が会場内を舞い、楽しい雰囲気となりました。

午前・午後ともに出演があったのが、リハビリテーション課によるミュージックベルでした。プロジェクターを使って映像を映し、クリスマスらしいかわいい動画やキラキラしたイルミネーションを楽しむ事が出来ました。動画に合わせて、リハビリの職員による「Winter Wonder Land」「サンタクロース」「ひいらぎかざろう」「ホワイトクリスマス」のミュージックベルの演奏も合わさってとても幻想的な雰囲気となりました。

クリスマス会が院内行事の締めくくりとなりましたが、楽しい時間となりました。多くの方のご参加、アンケートへのご協力ありがとうございました。今年もより楽しい院内行事を開催していきたいと思っております。今後とも、ご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。

平成27年度 クリスマス会 プログラム  
～午前の部～

1. はじめの言葉	嘉悦院長
2. ボランティア 皿回し 南京玉すだれ	萬芸樂房様
3. 合唱 雪 ふるさと	本館3階
4. ミュージックベル Winter wonder land サンタクロース ひいらぎかざろう ホワイトクリスマス	リハビリテーション課
5. 合唱 きよしこの夜	全員参加
6. おわりの言葉	本館3階奥師長

平成27年度 クリスマス会 プログラム  
～午後の部～

1.はじめの言葉	嘉悦院長
2.ボランティア 花笠音頭(太鼓) 宮陣節 木曾節 丹波の国の祝い唄 斉太郎節・デカンショ節(太鼓)	鼓銭会様 鼓銭会様全員 高谷安子様 砂川イトエ様 中隅等様 中元利勝様
3.赤鼻のトナカイ(風船)	レクリエーション委員会
4.ボランティア しげさ節 新相馬節 津軽じょんがら節(太鼓) 鹿兒島小原節	鼓銭会様 茶木初美様 中村久子様 小菊とし枝様 芝山きよ子様
5.ミュージックベル	リハビリテーション課
6.合唱 きよしこの夜	全員参加
7.おわりの言葉	南館2階寺内師長

出演:鼓銭会様、永友会様  
三味線:永江勝由様・中元利勝様  
太鼓:芝山きよ子様・中隅等様





# 2分間スピーチ

## 3月

南館1階 友井 真理

一月程前のことだったと思いますが、個室に入院されている患者様のご家族が「こんなにきれいにしている病院、はじめて見たわ。」と、病室が綺麗に掃除されている事を喜んでおられました。

また、他の患者様のご家族が「良くしてもらってるんですね。見たらわかります。」と言ってくださいました。70歳くらいの方で、遠方から初めて面会に来られた娘さんの様でした。

病室がきれいかどうかというの、入院している本人やご家族にとって、とても気になる所だと思います。私は、いなみ野病院に入職して以来、南館1階に

勤務し、4年目になります。業務の合間に、病室の掃除をする時間を作るのは、なかなか大変なことだと感じていました。それが、昨年、フロアスタッフの方が配置され、注食などで汚れがちだった床頭台や、ベッド周り、湿気の多い洗面所の棚など、目に付く場所が、いつも綺麗に拭いてあり、とても気持ちよくなりました。

また、入院している家族が、良くしてもらっているな、と感じられたのは、患者様の体が綺麗になり、布団がきちんとかけられ、靴も揃えられている。そして何より、患者様に笑顔が見られたからだと思います。患者様の表情がいいというのは、体調が良いだけではなく、毎日身近で接しているスタッフの明るい声かけや、丁寧な援助があつてこ

そだと思えます。

『医療での接遇』を調べてみると、「医療者でなくとも社会人であれば、言葉遣いや、挨拶、身だしなみなどの「形」に、尊敬や感謝の気持ちを含めて表しますが、医療現場での信頼関係を築く基本となるのが接遇です。そして、その思いは、実際に行動にして初めて伝えることが可能になります。」とありました。

看取りの患者様が多い中、時には、入院後数日で病状が急変して、亡くなる方もあります。信頼関係もできておらず、ご家族は受け入れられるだろうか？昨日の自分の言葉や態度はどうだったか？もっと丁寧に説明できたのではないかと、ただ一度の自分の行動の重要さを振り返った事が、皆さんにもあると思います。業務に追われる毎日ですが、普段の関わりを大事に、ちゃんと相手に伝わる接遇ができるように、心と体に少しのゆとりを持っていければいいなと思っています。

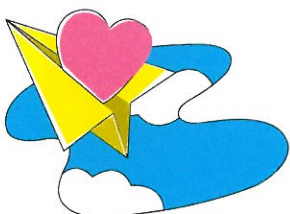
## 4月

南館2階 櫻木 美保

私は、小さい頃から人見知り、クラス替えや、入学、就職など、新しい環境の変化が多いこの季節は、いつも楽しみより不安の方が大きかったことを思い出します。また、人前での発表などは大の苦手で顔が真っ赤になるため、よく友達から「林檎ちゃん」とかわられていました。今でもそれらは変わりませんが、ある人が「自分も同じ人見知りで気持ちは分かる。」と言ってくれたり、

またある人は「一生懸命な気持ちにはちゃんと伝わってくるから大丈夫。」と言ってくれた時、とても気持ちが楽になりました。そんな私ではありますが、息抜きはライブに行くことで、会場では笑顔の人が本当に多く、たくさんのお会いを見かけます。私自身も、たまたま隣になった人と、年齢や住んでいる場所やライフスタイル

など、環境が全く違って、環境が全く違って、ライヴという共通の話題で会話をしたり、そのままと一緒にご飯に行ったりということもありました。言葉や声かけ、笑顔があればな、お良いと思います。そして、それは患者様やご家族に対して、スタッフ間、どの場合においても共通することだと思えます。自分自身まだまだ未熟な部分がたくさんあるので、徐々に成長できたらいいなと思います。





7月

本館1階 福井 希

私は前に特別養護老人ホームで働いていました。初めて勤める職場で、利用者さんとうまくコミュニケーションがとれませんでした。ある日、一人の利用者さんから「あなたは言葉が固すぎるもうちょっとくずしてもええ」と声をかけられました。

その施設の職員はほとんど利用者さんに対して敬語を使わず接していました。「利用者さんに対して敬語を使わないなんて」と思って職場の先輩に相談すると「利用者さんにとって、ここが家みたいなものだから職員に対して馴染みを持ってもらいたい。親しくなれば口調がくだけるのはしかたがないこと。だからそんなに馬鹿丁寧な言葉で話をしなくてもいい。」と助言をもらいました。利用者さんが親しみをもって接してくれていても敬語だと一線距離を置いた感じに

なってしまう、また高齢者にとって敬語は聞きづらい場合もあると教えられました。そういう考え方もあるのだなあと私はその時に思い、崩した言葉で利用者さんの声掛けをするようになりました。

それから、利用者さんともコミュニケーションが前よりも上手くとれるようになり、施設の行事にも楽しく参加できるようになりました。

しかし、利用者さんに対して崩した言葉を一度使い始めると、どんどん口調が荒くなっていくのが自分でもわかりました。「その言葉かけの仕方はどうなのかな？」と思うような言葉を使う職員も周りにいて、利用者さんに対して暴言に近い言葉を使う職員もいました。私はその言葉を聞いて知らずの内に自分もそうなるってないかと、怖くなりました。

今思えば、その施設でのコミュニケーションに求められていたのは相手にとって親身になる、身近に感じ

る言葉かけの仕方だったのだと思います。でも、度が過ぎてしまうとあまりにも相手に対して失礼な接し方になるのだと感じました。一つの言葉にしても言葉の受け手である相手の心に寄り添って「私が相手の立場だったらどう感じるだろう」と共感する気持ちが大切だと思います。

日頃、何気なく使っている言葉や動作は自分で気が付くのは難しいですが、相手の立場に立って考えてみることを意識していこうと思いました。



8月

本館2階 二宮 加津子

私の好きな番組にプロフェッショナル、仕事の流儀という番組があります。

プロサッカー選手の本田圭祐さんが、ゲストでインタビューに答えたなかで感銘した内容を話したいと思います。

本田さんはイタリアのチームに移籍した時、活躍できずメディアからかなり厳しい批判をうけました。そこで週4日イタリア語の勉強し、チームメイト、との意思疎通を図る努力をしました。特に監督さんとは、かなり話あったそうです。その結果試合で活躍でき高い評価をされました。上司の行っている事を疑ったまま仕事しても何も意味ないし、良い結果はでない、その時こそコミュニケーションを図る努力をする事が大事である。

また、本田さんは小、中学生のころは全く評価のない選手だったそうです。では、なぜ、世界でも、高く評価されるまでになったか？それは過去は変えられないが未来は変えられる、という強い信念、大きな夢を持つ、それには紛れもなく努力、挑戦する姿勢が必

要。人には、わからない陰で、世界一になるには世界一の努力がいる。天才ではなく、努力、という二文字で培ってこられた方なのです。

最後にプロフェッショナルとは？とゲストの方にコメントをもらうのですが、本田さんは仕事に対して紳士であること、一生懸命でまじめであること。さて、みなさんにとってのプロフェッショナルとは？

私は謙虚で、努力することを忘れず、仕事に向きあっていたいと思います。流儀（その人、流派独特のやり方）紳士（品格があり礼儀正しい男性）





介  
護  
フ  
ェ  
ア

平成27年11月14日（土）に第1回介護フェアを開催しました。

看護部の目標である「自分や家族が受けたい心のこもった看護・介護」をもとに、温もりのある介護という意味で「つながる笑顔で温介護（あったかいご）」をテーマに企画しました。

初めての試みだったので前日まで準備に追われ成功するのか不安でしたが、当日は多くの方が来て下さり見事大成功でした!!

参加された御家族、地域の方々から「いい企画だね」「来年もして欲しい」という嬉しい声を聞く事ができ喜んでいただけただけではないと思います。

次回、機会があればたくさんのご参加をお待ちしております。今回、ご参加いただきました皆様ありがとうございます。



いなみ野病院 概要

診療科目 内科、リハビリテーション科  
 病床種別 療養病床 290床  
 (医療保険 2病棟 120床)  
 (介護保険 3病棟 170床)

診療報酬上の施設基準

医療保険

- 療養病棟入院基本料1
- 療養病棟療養環境加算1
- 外来リハビリテーション診療料
- 患者サポート体制充実加算
- 栄養サポートチーム加算
- 病棟薬剤業務実施加算
- 医療安全対策加算2
- 地域連携診療計画退院時指導(Ⅱ)
- 脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ)
- 運動器リハビリテーション(Ⅰ)
- 入院時食事療養(Ⅰ)
- 薬剤管理指導料

介護保険

- 病院療養型 I型(療養機能強化型B)
- 夜間勤務条件基準 減算型
- 職員の欠員による減算の状況 なし
- ユニットケア体制 対応不可
- 療養環境基準 基準型(2病棟)・減算型(1病棟)
- 医師の配置基準 基準
- 栄養管理の評価 栄養ケア・マネジメント体制
- 身体拘束廃止取組の有無 あり
- 特定診療費項目 薬剤管理指導
- リハビリテーション提供体制  
 理学療法Ⅰ・作業療法・言語聴覚療法・その他

●●● 編集後記 ●●●

昨年はFIFA女子ワールドカップがあり「なでしこジャパン」は残念ながら準優勝でした。また、本年は8月5日よりリオデジャネイロオリンピックが開催されます。日本勢の成績はどうなるでしょう。楽しみな1年になりそうです。  
 本年が皆様方にとって良い年になりますように。今年も昨年同様よろしくお願い致します。